

12歳の
ための

小説すらすら講座

第9回 正しい原稿の書き方とは!?

小説がす～らすら書けちゃう!?

この講座を参考にして、小説を書いてみよう!

小学五年生まで
大活躍中の
文具天國
メンバーだ!

ケシゴムくん

えんぴつくん(HB)

万年筆先生

本講座の
登場人物

監修/奈良裕明(作家)

89年「チンドン・ジャン」にて第13回すばる文学賞受賞。96年より「松涛スクール/文章の学校」に講師として参加。また、自治体主催の文章教室で、11歳から82歳まで指導した実績を持つ。著書に「小説を書くための基礎メソッド」(雷鳥社刊)など。

こぼれて間違え!?

応募作品に多く見られた原稿の書き方

① その日私は委員会で遅くなり、放課後ひとり教室にいました。帰る準備をしていたのですが、日誌を書くのを忘れていたことに気づき、書いているうちにすっかり外は暗くなっていました。先生が入って来て、
② 「まち子さん、まだ残っていたの? 日誌は明日の朝、出せばいいから、早く帰りなさい」
③ と言ったので、まち子は慌てて教室を出ました。
④ 校門近くに男が立っていました。男は赤いノートをそっと置き立ち去りました。そこへまち子が走って来ました。

えー! ボクも
やっちゃった
かもー!!

原稿の書き方に
間違いがあるのかも。

「12歳の文学賞」は、たくさん
の作品が届き先日締め切
られた。そこで今月は、応募
作品に見られた原稿の書き
方の間違いをあげて、正しい
書き方を学んでいこう!

① 改行がなく説明文が続く

説明文が単調に続くと読み手はあきてしまう。区切りのいいところで改行したり、会話文をはさむなどして文章にメリハリを。読みやすさも大事なことだ。

② 会話文(カギカッコ内)

2行目の文頭がひとマス空いている

会話文が2行以上にわたる場合、2行目以降の頭は1字下げなくてよい。一般の小説を読んでみよう。そうになっているはずだ。

⑤ 原稿用紙のとじ方

枚数が多い場合、ホチキスでとめると後ろの原稿が取れそうになる。

この場合は、穴をあけ、ひもでくろう。



では、名作の一部を
例に、書き方のおさ
らいと改善のポイント
を説明していこう。



③ 途中で人称が変わっている

一人称(主人公の視点)で書かれているが、途中から別の人の視点になっている。また、一人称の場合、「私」が不在の場所のできごととは「伝聞」の形で書くのが基本。

④ 唐突にモチーフ(小道具)が出てきたが...

このモチーフが物語の重要なカギに? と思っていれば最後まで出てこない…。印象的な人物や小道具を登場させるには意味をもたせる形にしよう。

万年筆先生のプチプチメモ

小説を書くにはたくさん小説を読むこと、などとよく言われている。それはなぜか? 自分が書きたいジャンルの小説は最高のお手本だからだ。お手本を読み、小説という「型」を知ることが大切。型を知っていると知らないのでは大違い。型を知ったうえでズラしていき、自分なりの表現方法を見つけ物語をつくっていこう。